

公的年金制度は家計貯蓄を阻害するか：

中国の省別パネルデータによる分析

大阪大学大学院

王 梅欣

#### 要旨

公的年金制度が家計貯蓄に及ぼす影響については、様々な議論があるが、今までのところ中国の年金制度移行期に関する実証分析は見当たらない。本稿では、中国の公的年金制度の存在が家計貯蓄を低下させたか否かを、1992年から2003年までの全国省別パネルデータを用いて検証する。パネル分析を行ったところ、1992～1996年には公的年金が家計貯蓄を減少させるという証拠は得られなかったが、1999～2003年には公的年金が家計貯蓄を減少させたことが分かった。また、公的年金制度の賦課方式から部分的積立方式への移行について分析したところ、積立方式の公的年金制度は、家計貯蓄を減少させた要因であることが明らかになった。